

2．再審査等請求ファイル受付

2 「エラーメッセージ」欄は、「再審査等請求 受付処理結果リスト」に出力されるエラーメッセージを表します。

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
1	L 1 1 0 1					H T	継承前保険者番号等 1	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 1 が 8 桁の英数モードではありません。 継承前保険者番号等 1 [X X X X X X X X X]	1．再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 1 に 8 桁以外が記録されている。 2．再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 1 に英数モード以外が記録されている。		文字は 0 から 9 の数字とスペースのみ有効となる。
2	L 1 1 0 2					H T	継承前保険者番号等 1	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 1 が保険者マスタに存在していません。 継承前保険者番号等 1 [X X X X X X X X X]	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 1 が保険者マスタに存在していない。		
3	L 1 1 0 3					H T	継承前保険者番号等 1、保険者番号等	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 1 が保険者番号等の継承前保険者ではありません。 継承前保険者番号等 1 [X X X X X X X X X] 保険者番号等 [X X X X X X X X X]	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 1 が保険者番号等の継承前保険者として保険者マスタに存在していない。		
4	L 1 1 0 4					H T	継承前保険者番号等 2	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 2 が 8 桁の英数モードではありません。 継承前保険者番号等 2 [X X X X X X X X X]	1．再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 2 に 8 桁以外が記録されている。 2．再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 2 に英数モード以外が記録されている。		文字は 0 から 9 の数字とスペースのみ有効となる。
5	L 1 1 0 5					H T	継承前保険者番号等 2	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 2 が保険者マスタに存在していません。 継承前保険者番号等 2 [X X X X X X X X X]	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 2 が保険者マスタに存在していない。		
6	L 1 1 0 6					H T	継承前保険者番号等 2、保険者番号等	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 2 が保険者番号等の継承前保険者ではありません。 継承前保険者番号等 2 [X X X X X X X X X] 保険者番号等 [X X X X X X X X X]	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 2 が保険者番号等の継承前保険者として保険者マスタに存在していない。		
7	L 1 1 0 7					H T	継承前保険者番号等 3	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 3 が 8 桁の英数モードではありません。 継承前保険者番号等 3 [X X X X X X X X X]	1．再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 3 に 8 桁以外が記録されている。 2．再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 3 に英数モード以外が記録されている。		文字は 0 から 9 の数字とスペースのみ有効となる。
8	L 1 1 0 8					H T	継承前保険者番号等 3	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 3 が保険者マスタに存在していません。 継承前保険者番号等 3 [X X X X X X X X X]	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 3 が保険者マスタに存在していない。		
9	L 1 1 0 9					H T	継承前保険者番号等 3、保険者番号等	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 3 が保険者番号等の継承前保険者ではありません。 継承前保険者番号等 3 [X X X X X X X X X] 保険者番号等 [X X X X X X X X X]	再審査等請求保険者等レコード (H T) の継承前保険者番号等 3 が保険者番号等の継承前保険者として保険者マスタに存在していない。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ（ 2 ）	エラー原因	変更暦年月	備考
10	L 1 1 1 0					H T	継承前保険者番号等4	再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等4が8桁の英数モードではありません。 継承前保険者番号等4 [X X X X X X X X]	1．再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等4に8桁以外が記録されている。 2．再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等4に英数モード以外が記録されている。		文字は0から9の数字とスペースのみ有効となる。
11	L 1 1 1 1					H T	継承前保険者番号等4	再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等4が保険者マスタに存在していません。 継承前保険者番号等4 [X X X X X X X X]	再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等4が保険者マスタに存在していない。		
12	L 1 1 1 2					H T	継承前保険者番号等4、保険者番号等	再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等4が保険者番号等の継承前保険者ではありません。 継承前保険者番号等4 [X X X X X X X X] 保険者番号等 [X X X X X X X X]	再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等4が保険者番号等の継承前保険者として保険者マスタに存在していない。		
13	L 1 1 1 3					H T	継承前保険者番号等5	再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等5が8桁の英数モードではありません。 継承前保険者番号等5 [X X X X X X X X]	1．再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等5に8桁以外が記録されている。 2．再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等5に英数モード以外が記録されている。		文字は0から9の数字とスペースのみ有効となる。
14	L 1 1 1 4					H T	継承前保険者番号等5	再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等5が保険者マスタに存在していません。 継承前保険者番号等5 [X X X X X X X X]	再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等5が保険者マスタに存在していない。		
15	L 1 1 1 5					H T	継承前保険者番号等5、保険者番号等	再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等5が保険者番号等の継承前保険者ではありません。 継承前保険者番号等5 [X X X X X X X X] 保険者番号等 [X X X X X X X X]	再審査等請求保険者等レコード（H T）の継承前保険者番号等5が保険者番号等の継承前保険者として保険者マスタに存在していない。		
16	L 2 2 0 1					R C	-	履歴管理ブロックの最下部に記録されたレコード管理情報レコード（R C）の項目数が「5」ではありません。 レセプト内レコード番号 [X X X X]	履歴管理ブロックの最下部に記録されたレコード管理情報レコード（R C）の項目数が「5」以外となっている。		
17	L 2 2 0 2					R C	行番号	履歴管理ブロックの最下部に記録されたレコード管理情報レコード（R C）の行番号が5桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 行番号 [X X X X X X]	1．レコード管理情報レコード（R C）の行番号に6桁以上が記録されている。 2．レコード管理情報レコード（R C）の行番号に数字モード以外が記録されている。 3．レコード管理情報レコード（R C）の行番号が省略されている。		
18	L 2 2 0 3					R C	枝番号	履歴管理ブロックの最下部に記録されたレコード管理情報レコード（R C）の枝番号が3桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 枝番号 [X X X X X X]	1．レコード管理情報レコード（R C）の枝番号に4桁以上が記録されている。 2．レコード管理情報レコード（R C）の枝番号に数字モード以外が記録されている。 3．レコード管理情報レコード（R C）の枝番号が省略されている。		
19	L 2 2 0 4					R C	管理情報	履歴管理ブロックの最下部に記録されたレコード管理情報レコード（R C）の管理情報が10桁以内の英数モードではありません。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X]	1．レコード管理情報レコード（R C）の管理情報に10桁以上が記録されている。 2．レコード管理情報レコード（R C）の管理情報に英数モード以外が記録されている。 3．レコード管理情報レコード（R C）の管理情報が省略されている。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
20	L 2 2 0 5					R E	診療年月	当該レセプトについては、診療年月が3 4 ヶ月を経過しております。オンライン請求システムから受付できませんので、紙による再審査等請求を行ってください。	1. 医科レセプト、D P C レセプト及び歯科レセプトのレセプト共通レコード(R E) の診療年月に、再審査等請求年月から3 4 ヶ月前の診療年月が記録されている。 2. 調剤レセプトのレセプト共通レコード(R E) の調剤年月に、再審査等請求年月から3 4 ヶ月前の調剤年月が記録されている。		オンライン再審査等請求が可能なレセプトの診療年月は、再審査等請求年月から3 3 ヶ月前の診療年月までとなる。
21	L 2 2 0 6					R C	管理情報	履歴管理ブロックの内容と履歴管理ブロックの最下部に記録されているレコード管理情報レコード(R C) の管理情報が異なっています。履歴管理ブロック内に変更された箇所がないかご確認ください。	1. 履歴管理ブロックの最下部に記録されているレコード管理情報レコード(R C) の管理情報(審査支払機関が当該レセプトを識別する情報) が、履歴管理ブロックの内容から管理情報を算出した結果と異なっている。 2. 履歴管理ブロックの最下部に記録されているレコード管理情報レコード(R C) の管理情報の先頭にバージョン情報(Ver00001 等) が記録されていない。		
22	L 2 2 0 7					R C	管理情報	ファイル内に当該レセプトと同一のレセプトが記録されております。 相手レセプト整理番号[X]	履歴管理ブロック内のレセプト管理レコード(M N) の予備項目内の「検索番号」と同じレセプトがファイル内に記録されている。		同一ファイル内の重複チェックとなる。
23	L 2 2 0 8					R C	管理情報	当該レセプトについては、過去に同一の履歴管理ブロックで再審査等請求されております。 整理番号[X]	履歴管理ブロック内のレセプト管理レコード(M N) の予備項目内の「検索番号」と、最下部に記録されたレコード管理情報レコード(R C) の「管理情報」との組合せ情報のレセプトが、過去に再審査等請求されている。(再審査請求の受付時に電話等により削除依頼され、削除されたレセプトについては除く。)		過去分を含めた重複チェックとなる。
24	L 2 2 0 9					H O H T	-	再審査等請求保険者等レコード(H T) の保険者番号等、継承前保険者番号等1、継承前保険者番号等2、継承前保険者番号等3、継承前保険者番号等4及び継承前保険者番号等5に記録していない保険者番号等の再審査等請求レセプトが記録されています。 保険者番号[X X X X X X X X]	医療保険からの再審査等請求の場合、履歴管理ブロックの保険者レコード(H O) の保険者番号が、再審査等請求保険者等レコード(H T) の「保険者番号等」、「継承前保険者番号等1」、「継承前保険者番号等2」、「継承前保険者番号等3」、「継承前保険者番号等4」及び「継承前保険者番号等5」の何れの項目にも記録されていない。		補正データがある場合は補正データ内の保険者レコード(H O) がチェックの対象となる。
25	L 2 2 1 0					K O H T	-	再審査等請求保険者等レコード(H T) の保険者番号等、継承前保険者番号等1、継承前保険者番号等2、継承前保険者番号等3、継承前保険者番号等4及び継承前保険者番号等5に記録していない保険者番号等の再審査等請求レセプトが記録されています。 第1公費負担者番号[X X X X X X X X]	公費負担医療からの再審査等請求の場合、履歴管理ブロックの公費レコード(K O) の公費負担医療負担者番号(第1公費負担者番号) が、再審査等請求保険者等レコード(H T) の「保険者番号等」、「継承前保険者番号等1」、「継承前保険者番号等2」、「継承前保険者番号等3」、「継承前保険者番号等4」及び「継承前保険者番号等5」の何れの項目にも記録されていない。		補正データがある場合は補正データ内の公費レコード(K O) がチェックの対象となる。
26	L 2 2 1 1					R E H T	-	公費負担医療からの再審査等請求ですが、医療保険との併用レセプトが直接請求されております。当該レセプトは、医療保険のレセプトを原本と致しますので、返付依頼による再審査等請求をお願いします。 保険者番号[X X X X X X X X]	公費負担医療からの再審査等請求の場合、レセプト共通レコード(R E) のレセプト種別の2桁目が「2」以外のレセプトを請求している。		補正データがある場合は補正データ内のレセプト共通レコード(R E) がチェックの対象となる。
27	L 2 2 1 2					R E H T	-	公費負担医療からの再審査等請求ですが、他の公費負担医療との併用レセプトが直接請求されております。当該レセプトは、第1公費負担医療のレセプトを原本と致しますので、返付依頼による再審査等請求をお願いします。 第1公費負担者番号[X X X X X X X X]	公費負担医療からの再審査等請求の場合、レセプト共通レコード(R E) のレセプト種別の2・3桁目が「22」、「23」及び「24」のレセプトを第1公費負担医療以外が請求している。		補正データがある場合は補正データ内のレセプト共通レコード(R E) がチェックの対象となる。
28	L 2 3 0 1					M D	-	再審査等申し出レコード(M D) の項目数が「2 2」ではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X]	再審査等申し出レコード(M D) の項目数が「2 2」以外となっている。		
29	L 2 3 0 2					M D	申し出 一連番号	再審査等申し出レコード(M D) の申し出一連番号が3桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X X]	1. 再審査等申し出レコード(M D) の申し出一連番号に4桁以上が記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(M D) の申し出一連番号に数字モード以外が記録されている。 3. 再審査等申し出レコード(M D) の申し出一連番号が省略されている。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
30	L 2 3 0 3					MD	申し出一連番号	再審査等申し出レコード(MD)の申し出一連番号が「 1 」から昇順に記録されていません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 前回申し出一連番号[X X X] 今回申し出一連番号[X X X]	1. 請求回単位で先頭に記録された再審査等申し出レコード(MD)の申し出一連番号に「 1 」以外が記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)を複数記録した場合、前のレコードの申し出一連番号と次のレコードの申し出一連番号が昇順に記録されていない。		エラー原因 1 の場合、前回申し出一連番号は記録されません。
31	L 2 3 0 4					MD	申し出受付年月日	再審査等申し出レコード(MD)の申し出受付年月日が記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X]	保険者等では記録を省略すべき、再審査等申し出レコード(MD)の申し出受付年月日に文言が記録されている。		
32	L 2 3 0 5					MD	整理番号	再審査等申し出レコード(MD)の整理番号が 1 7 桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 整理番号[X]	1. 再審査等申し出レコード(MD)の整理番号に 1 8 桁以上が記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の整理番号に数字モード以外が記録されている。		
33	L 2 3 0 7					MD	整理番号	再審査等申し出レコード(MD)の申し出一連番号が「 1 」ですが、整理番号が記録されていません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X]	申し出一連番号が「 1 」の再審査等申し出レコード(MD)に整理番号が記録されていない。		
34	L 2 3 0 8					MD	整理番号	再審査等申し出レコード(MD)の申し出一連番号が「 1 」以外ですが、整理番号が記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 整理番号[X]	申し出一連番号が「 1 」以外の再審査等申し出レコード(MD)に整理番号が記録されている。		
35	L 2 3 0 9					MD	整理番号	同じ整理番号の再審査等請求レセプトが再審査等請求ファイル(同時に送信した他の点数表の再審査等請求ファイル含む)に記録されています。異なる整理番号を設定してください。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 整理番号[X]	レセプト管理レコード(MN)の検索番号と再審査等申し出レコード(MD)の整理番号が異なる場合、再審査等申し出レコード(MD)の整理番号と同一レセプトが再審査等請求ファイル(同時に送信した他の点数表の再審査等請求ファイル含む)に記録されている。		
36	L 2 3 1 0					MD	整理番号	独自の整理番号で管理している保険者等が、同一レセプトを 2 回以上再審査等請求するとき、過去に同じ整理番号が記録されています。異なる整理番号を設定してください。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 整理番号[X]	レセプト管理レコード(MN)の検索番号と再審査等申し出レコード(MD)の整理番号が異なり、同一レセプトを 2 回以上再審査等請求する場合、履歴管理ブロック内に同じ整理番号が記録されている。		
37	L 2 3 1 1					MD	請求回数	再審査等申し出レコード(MD)の請求回数が 2 桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 請求回数[X X X]	1. 再審査等申し出レコード(MD)の請求回数に 3 桁以上が記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の請求回数に数字モード以外が記録されている。		
38	L 2 3 1 2					MD	請求回数	再審査等申し出レコード(MD)の申し出一連番号が「 1 」ですが、請求回数が記録されていません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X]	申し出一連番号が「 1 」の再審査等申し出レコード(MD)に請求回数が記録されていない。		
39	L 2 3 1 3					MD	請求回数	再審査等申し出レコード(MD)の申し出一連番号が「 1 」以外ですが、請求回数が記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X]	申し出一連番号が「 1 」以外の再審査等申し出レコード(MD)に請求回数が記録されている。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ（ 2 ）	エラー原因	変更暦年月	備考
40	L 2 3 1 4					MD	請求回数	再審査等申し出レコード（MD）の請求回数が「1」から昇順に記録されていません。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 前回請求回数 [X X X] 今回請求回数 [X X X]	1．初めて再審査等請求するレセプトの場合、再審査等申し出レコード（MD）の請求回수에「1」以外が記録されている。 2．2回以上再審査等請求するレセプトの場合、履歴管理情報に記録されている再審査等申し出レコード（MD）の前の請求回数と、今回請求する再審査等申し出レコード（MD）の請求回数が昇順に記録されていない。		
41	L 2 3 1 5					MD	請求回数	再審査等申し出レコード（MD）の請求回数が制限回数を超過しています。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 今回請求回数 [X X X]	再審査等請求するレセプトの再審査等申し出レコード（MD）の請求回数にシステムの制限を超えた値が記録されている。		
42	L 2 3 1 6					MD	理由番号	再審査等申し出レコード（MD）の理由番号が6桁の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 申し出一連番号 [X X X] 理由番号 [X X X X X X X]	1．再審査等申し出レコード（MD）の理由番号が6桁以外が記録されている。 2．再審査等申し出レコード（MD）の理由番号に数字モード以外が記録されている。 3．再審査等申し出レコード（MD）の理由番号が省略されている。		
43	L 2 3 1 7					MD	理由番号	再審査等申し出レコード（MD）の理由番号に、定められていない理由番号コードが記録されています。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 申し出一連番号 [X X X] 理由番号 [X X X X X X]	再審査等申し出レコード（MD）の理由番号に、定められていない理由番号コードが記録されている。		
44	L 2 3 1 8					MD	理由番号	複数の再審査等申し出レコード（MD）が記録されてますが、それぞれのレコードに異なる原票種類の理由番号が記録されています。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 前回申し出一連番号 [X X X] 前回理由番号 [X X X X X X] 今回申し出一連番号 [X X X] 今回理由番号 [X X X X X X]	複数の再審査等申し出レコード（MD）が記録された場合、それぞれレコードの理由番号に異なる原票種類の理由番号が記録されている。		
45	L 2 3 1 9					MD	理由番号	「資格関係等」で複数の再審査等申し出レコード（MD）が記録されてますが、それぞれのレコードに同じ理由番号が記録されています。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 前回申し出一連番号 [X X X] 前回理由番号 [X X X X X X] 今回申し出一連番号 [X X X] 今回理由番号 [X X X X X X]	原票種類が「資格関係等」で複数の再審査等申し出レコード（MD）が記録された場合、それぞれレコードに同じ理由番号が記録されている。		
46	L 2 3 2 0					MD	理由番号	複数の再審査等申し出レコード（MD）が記録されていますが、当該理由番号のときは再審査等申し出レコードは1レコードとなります。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 申し出一連番号 [X X X] 理由番号 [X X X X X X]	下記の理由番号のとき、再審査等申し出レコード（MD）は1レコードのみの記録となるが、複数レコード記録されている。 【理由番号】 「100025：医療機関等及び実施機関からの取下げ依頼による」 「100048：請求先変更（新設・合併等）」 「100052：医療機関等及び実施機関からの再審査請求による」 「100070：参照されるレセプト」		
47	L 2 3 2 1					MD	理由番号	調剤報酬請求について審査請求（調剤審査の再審査含む）するとき、調剤レセプトに係る理由番号に「100049：調剤審査の再審査（調剤レセプト）」及び「100080：調剤審査（調剤レセプト）」以外が記録されています。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 申し出一連番号 [X X X] 理由番号 [X X X X X X]	調剤レセプトで調剤報酬請求について審査請求（調剤審査の再審査含む）する場合、下記の理由番号以外が記録されている。 【理由番号】 「100049：調剤審査の再審査（調剤レセプト）」 「100080：調剤審査（調剤レセプト）」		
48	L 2 3 2 2					MD	理由番号	調剤報酬請求について審査請求（調剤審査の再審査含む）するとき、調剤以外のレセプトに係る理由番号に「100069：調剤審査の再審査（医科・歯科レセプト）」及び「100090：調剤審査（医科・歯科レセプト）」以外が記録されています。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 申し出一連番号 [X X X] 理由番号 [X X X X X X]	調剤以外のレセプトで調剤報酬請求について審査請求（調剤審査の再審査含む）する場合、下記の理由番号以外が記録されている。 【理由番号】 「100069：調剤審査の再審査（医科・歯科レセプト）」 「100090：調剤審査（医科・歯科レセプト）」		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
49	L 2 3 2 3					MD	理由番号	調剤レセプトの合計点数が1500点未満ですが、調剤報酬請求について審査請求されています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出ー連番号[XXX] 理由番号[XXXXXXXX]	調剤レセプトの合計点数が1500点未満の場合、再審査等申し出レコード(MD)の理由番号に下記が記録されている。 【理由番号】 「100080:調剤審査(調剤レセプト)」		当該レセプトを、他の調剤審査の参考として添付する場合は、「100070:参照されるレセプト」としての請求となる。
50	L 2 3 2 4					MD JR	理由番号	当該レセプトは過去に調剤報酬請求について審査請求されていませんが、調剤審査の再審査として請求されています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出ー連番号[XXX] 理由番号[XXXXXXXX]	当該レセプトと縦覧相手レセプトの再審査等申し出レコード(MD)の理由番号の組合せが「100049:調剤審査の再審査(調剤レセプト)」及び「100069:調剤審査の再審査(医科・歯科レセプト)」の場合において、当該レセプトが次の条件で記録されている。 【条件】 1.初めて再審査等請求するレセプトの場合、再審査等申し出レコード(MD)の理由番号に下記が記録されている。 2.2回以上再審査等請求するレセプトの場合、履歴管理情報に記録されている再審査等申し出レコード(MD)の理由番号に「100080:調剤審査(調剤レセプト)」及び「100090:調剤審査(医科・歯科レセプト)」が存在しない、今回請求された理由番号に下記が記録されている。 【理由番号】 「100049:調剤審査の再審査(調剤レセプト)」 「100069:調剤審査の再審査(医科・歯科レセプト)」		「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はMDレコードの位置を表す。
51	L 2 3 2 5					MD JR	理由番号	再審査等申し出レコード(MD)の当該理由番号は、必ずレセプト縦覧レコードが記録される理由番号となります。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出ー連番号[XXX] 理由番号[XXXXXXXX]	下記の理由番号は紐付けるレセプトが存在するべき内容ですが、レセプト縦覧レコードが記録されていない。 【理由番号】 「100049:調剤審査の再審査(調剤レセプト)」 「100069:調剤審査の再審査(医科・歯科レセプト)」 「100070:参照されるレセプト」 「100080:調剤審査(調剤レセプト)」 「100090:調剤審査(医科・歯科レセプト)」		「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はMDレコードの位置を表す。
52	L 2 3 2 6					MD	理由番号 補足	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足が100桁以内の漢字モードではありません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出ー連番号[XXX]	1.再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足に101桁以上が記録されている。 2.再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足に漢字モード以外が記録されている。		
53	L 2 3 2 7					MD	理由番号 補足	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足に外字が含まれています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出ー連番号[XXX] 理由番号補足内エラー位置[XXX]	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足に外字が記録されている。		理由番号補足内エラー位置には外字が始めて記録された箇所を示す。
54	L 2 3 2 8					MD	理由番号 補足	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足の記録が必須となっている理由番号ですが、理由番号補足が記録されていません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出ー連番号[XXX] 理由番号[XXXXXXXX]	1.理由番号が「100024:その他」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足に「理由」が記録されていない。		
55	L 2 3 2 9					MD	理由番号 補足	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足の記録が必要ない理由番号ですが、理由番号補足が記録されています。なお、必要であれば「補足」項目に記録願います。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出ー連番号[XXX] 理由番号[XXXXXXXX]	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足の記録が必要ない理由番号において、理由番号補足が記録されている。		
56	L 2 3 3 0					MD	理由番号 補足	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号が「100048:請求先変更(新設・合併等)」ですが、理由番号補足に「変更先保険者番号」が記録されていません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出ー連番号[XXX] 理由番号補足[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]	1.理由番号が「100048:請求先変更(新設・合併等)」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足に「変更先保険者番号」が記録されていない。 2.理由番号補足の「変更先保険者番号」が8桁以内の全角数字で記録されていない。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
57	L 2 3 3 1					MD	理由番号補足	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足に記録されている「変更先保険者番号」が保険者マスタに存在していません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出一連番号[XXX] 理由番号補足[XXXXXXXXXXXXXXXXXX]	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足に記録されている「変更先保険者番号」が保険者マスタに存在していない。		
58	L 2 3 3 2					MD HO (KO)	理由番号補足	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号補足に記録されている「変更先保険者番号」が変更先として適当ではありません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出一連番号[XXX] 理由番号補足[XXXXXXXXXXXXXXXXXX]	1. レセプトが医療保険の場合、「変更先保険者番号」に公費負担医療の負担者番号が記録されている。 2. レセプトが公費負担医療の場合、「変更先保険者番号」に医療保険の保険者番号が記録されている。		「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はMDレコードの位置を表す。
59	L 2 3 3 3					MD	理由年月日1	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1が7桁の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出一連番号[XXX] 理由年月日1[XXXXXXXXXX]	1. 再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1が7桁以外が記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1に数字モード以外が記録されている。		
60	L 2 3 3 4					MD	理由年月日1	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1の記録が必須となっている理由番号ですが、理由年月日1が記録されていません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出一連番号[XXX] 理由番号[XXXXXXXXXX]	1. 理由番号が「100018:資格喪失後の受診」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1に「喪失年月日」が記録されていない。 2. 理由番号が「100023:給付期間満了」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1に「満了年月日」が記録されていない。		
61	L 2 3 3 5					MD	理由年月日1	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1の記録が必要ない理由番号ですが、理由年月日1が記録されています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出一連番号[XXX] 理由番号[XXXXXXXXXX] 理由年月日1[XXXXXXXXXX]	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1の記録が必要ない理由番号において、理由年月日1が記録されている。		
62	L 2 3 3 6					MD	理由年月日1	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1が正しい暦年月日ではありません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出一連番号[XXX] 理由年月日1[XXXXXXXXXX]	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1に記録された年月日が正しい暦年月日でない。		
63	L 2 3 3 7					MD	理由年月日1	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1が未来年月日となっています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出一連番号[XXX] 理由年月日1[XXXXXXXXXX]	1. 理由番号が「100018:資格喪失後の受診」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1に記録された「喪失年月日」が、診療年月より未来年月となっている。 2. 理由番号が「100023:給付期間満了」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日1に記録された「満了年月日」が、診療年月より未来年月となっている。		
64	L 2 3 3 8					MD	理由年月日2	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日2が7桁の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出一連番号[XXX] 理由年月日2[XXXXXXXXXX]	1. 再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日2が7桁以外が記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日2に数字モード以外が記録されている。		
65	L 2 3 3 9					MD	理由年月日2	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日2の記録が必要ない理由番号ですが、理由年月日2が記録されています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出一連番号[XXX] 理由番号[XXXXXXXXXX] 理由年月日2[XXXXXXXXXX]	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日2の記録が必要ない理由番号において、理由年月日2が記録されている。		
66	L 2 3 4 0					MD	理由年月日2	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日2が正しい暦年月日ではありません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 申し出一連番号[XXX] 理由年月日2[XXXXXXXXXX]	再審査等申し出レコード(MD)の理由年月日2に記録された年月日が正しい暦年月日でない。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
67	L 2 3 4 1					MD	理由内容コード	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容コードが6桁の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由内容コード[X X X X X X X]	1. 再審査等申し出レコード(MD)の理由内容コードが6桁以外が記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の理由内容コードに数字モード以外が記録されている。		
68	L 2 3 4 2					MD	理由内容コード	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容コードに、定められていない理由内容コードが記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由内容コード[X X X X X X X]	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容コードに、定められていない理由内容コードが記録されている。		
69	L 2 3 4 3					MD	理由内容コード	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容の記録が必須となっている理由番号ですが、理由内容コードが記録されていません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由番号[X X X X X X X]	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容の記録が必須となっている理由番号において、理由内容コードが記録されていない。		
70	L 2 3 4 4					MD	理由内容コード	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容の記録が必要ない理由番号ですが、理由内容コードが記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由番号[X X X X X X X] 理由内容コード[X X X X X X X]	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容の記録が必要ない理由番号において、理由内容コードが記録されている。		
71	L 2 3 4 5					MD	理由内容保険者等使用欄	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容保険者等使用欄が6桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由内容保険者等使用欄[X X X X X X X]	1. 再審査等申し出レコード(MD)の理由内容保険者等使用欄が7桁以上で記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の理由内容保険者等使用欄に数字モード以外が記録されている。		
72	L 2 3 4 6					MD	理由内容フリー入力	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容フリー入力が250桁以内の漢字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X]	1. 再審査等申し出レコード(MD)の理由内容フリー入力が251桁以上が記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の理由内容フリー入力に漢字モード以外が記録されている。		
73	L 2 3 4 7					MD	理由内容フリー入力	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容フリー入力に外字が含まれています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由内容フリー入力内エラー位置[X X X]	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容フリー入力に外字が記録されている。		理由内容フリー入力内エラー位置には外字が始めて記録された箇所を示す。
74	L 2 3 4 8					MD	理由内容フリー入力	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容フリー入力の記録が必須となっている理由内容コードですが、理由内容フリー入力が記録されていません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由内容コード[X X X X X X X]	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容フリー入力の記録が必須となっている理由内容コード「199999: (未コード化理由内容コード)」において、理由内容フリー入力が記録されていない。		
75	L 2 3 4 9					MD	理由内容フリー入力	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容フリー入力の記録が必要ない理由内容コードですが、理由内容フリー入力が記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由内容コード[X X X X X X X]	再審査等申し出レコード(MD)の理由内容フリー入力の記録が必要ない理由内容コード「190001: (相手レセプトの申し出内容による審査)」の場合及び理由内容コードが記録されていない場合において、理由内容フリー入力が記録されている。		
76	L 2 3 5 0					MD	補足	再審査等申し出レコード(MD)の補足が500桁以内の漢字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X]	1. 再審査等申し出レコード(MD)の補足に501桁以上が記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の補足に漢字モード以外が記録されている。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
77	L 2 3 5 1					MD	補足	再審査等申し出レコード(MD)の補足に外字が含まれています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 補足内エラー位置[X X X]	再審査等申し出レコード(MD)の補足に外字が記録されている。		補足内エラー位置には外字が始めて記録された箇所を示す。
78	L 2 3 5 2					MD	補足	再審査等申し出レコード(MD)の補足の記録が必須となっている理由番号ですが、補足が記録されていません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由番号[X X X X X X]	1. 理由番号が「1 0 0 0 2 0 : 給付対象外診療(労災等)」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の補足に「労災、交通事故及び公費負担医療の何れにより給付対象外なのか」が記録されていない。 2. 理由番号が「1 0 0 0 5 0 : その他」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の補足に「内容」が記録されていない。		
79	L 2 3 5 3					MD	医療機関等連絡	再審査等申し出レコード(MD)の医療機関等連絡が1 桁の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 医療機関等連絡[X X]	1. 再審査等申し出レコード(MD)の医療機関等連絡に1 桁以外が記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の医療機関等連絡に数字モード以外が記録されている。		
80	L 2 3 5 4					MD	医療機関等連絡	再審査等申し出レコード(MD)の医療機関等連絡に、定められていない医療機関等連絡コードが記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 医療機関等連絡[X]	再審査等申し出レコード(MD)の医療機関等連絡に、定められていない医療機関等連絡コードが記録されている。		
81	L 2 3 5 5					MD	返付依頼整理番号	再審査等申し出レコード(MD)の返付依頼整理番号が1 2 桁の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 返付依頼整理番号[X]	1. 再審査等申し出レコード(MD)の返付依頼整理番号に1 2 桁以外が記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の返付依頼整理番号に数字モード以外が記録されている。		
82	L 2 3 5 7					MD	返付依頼整理番号	再審査等申し出レコード(MD)の返付依頼整理番号の記録が必須となっている理由番号ですが、返付依頼整理番号が記録されていません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 返付依頼整理番号[X]	1. 理由番号が「1 0 0 0 2 5 : 医療機関等及び実施機関からの取下げ依頼による」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の返付依頼整理番号に「返付依頼整理番号」が記録されていない。 2. 理由番号が「1 0 0 0 5 2 : 医療機関等及び実施機関からの再審査請求による」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の返付依頼整理番号に「返付依頼整理番号」が記録されていない。		
83	L 2 3 5 8					MD	返付依頼整理番号	再審査等申し出レコード(MD)の返付依頼整理番号の記録が必要ない理由番号ですが、返付依頼整理番号が記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由番号[X X X X X X] 返付依頼整理番号[X]	再審査等申し出レコード(MD)の返付依頼整理番号の記録が必要ない理由番号において、返付依頼整理番号が記録されている。		
84	L 2 3 5 9					MD	返付依頼整理番号	再審査等申し出レコード(MD)の返付依頼整理番号が返付依頼された返付依頼整理番号ではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 返付依頼整理番号[X]	再審査等申し出レコード(MD)の返付依頼整理番号に記録された返付依頼整理番号が、返付依頼時に審査支払機関で設定した番号でない。		
85	L 2 3 6 0					MD	理由番号	返付依頼時の返付理由コードが「1 : 再審査」になっていますが、再審査等申し出レコード(MD)の理由番号に「1 0 0 0 2 5 : 医療機関等及び実施機関からの取下げ依頼による」が記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由番号[X X X X X X]	返付依頼時の返付理由コードが「1 : 再審査」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の理由番号に「1 0 0 0 2 5 : 医療機関等及び実施機関からの取下げ依頼による」が記録されている。		
86	L 2 3 6 1					MD	理由番号	返付依頼時の返付理由コードが「2 : 取下げ」になっていますが、再審査等申し出レコード(MD)の理由番号に「1 0 0 0 5 2 : 医療機関等及び実施機関からの再審査請求による」が記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由番号[X X X X X X]	返付依頼時の返付理由コードが「2 : 取下げ」のとき、再審査等申し出レコード(MD)の理由番号に「1 0 0 0 5 2 : 医療機関等及び実施機関からの再審査請求による」が記録されている。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
87	L 2 3 6 2					MD	保険者等使用欄	再審査等申し出レコード(MD)の保険者等使用欄が3 0桁以内の英数モード又は1 5桁以内の漢字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X]	1. 再審査等申し出レコード(MD)の保険者等使用欄が英数モードで3 1桁以上で記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の保険者等使用欄が漢字モードで1 6桁以上で記録されている。 3. 再審査等申し出レコード(MD)の保険者等使用欄に英数又は漢字モード以外が記録されている。 4. 再審査等申し出レコード(MD)の保険者等使用欄に英数モードと漢字モードの混在が記録されている。		
88	L 2 3 6 3					MD	保険者等使用欄	再審査等申し出レコード(MD)の保険者等使用欄に外字が含まれています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 保険者等使用欄内エラー位置[X X]	再審査等申し出レコード(MD)の保険者等使用欄に外字が記録されている。		保険者等使用欄内エラー位置には外字が始めて記録された箇所を示す。
89	L 2 3 6 4					MD	予備	再審査等申し出レコード(MD)の予備が記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X]	保険者等では記録を省略すべき、再審査等申し出レコード(MD)の予備に文言が記録されている。		
90	L 2 3 6 5					MD RT	理由内容コード	理由対象レコード(RT)の記録が必須となっている再審査等申し出レコード(MD)の理由内容コードですが、理由対象レコードが記録されていません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由内容コード[X X X X X X]	理由対象レコード(RT)の記録が必須となっている再審査等申し出レコード(MD)の理由内容コード(「1 9 0 0 0 1 : (相手レセプトの申し出内容による審査)」及び「1 9 9 9 9 : (未コード化理由内容コード)」以外)ですが、理由対象レコードが記録されていない。		「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はMDレコードの位置を表す。
91	L 2 3 6 6					MD RT	理由内容コード	理由対象レコード(RT)の記録が必要ない再審査等申し出レコード(MD)の理由内容コードですが、理由対象レコードが記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由内容コード[X X X X X X]	1. 理由対象レコード(RT)の記録が必要ない再審査等申し出レコード(MD)の理由内容コード「1 9 0 0 0 1 : (相手レセプトの申し出内容による審査)」ですが、理由対象レコードが記録されている。 2. 再審査等申し出レコード(MD)の理由内容コードが省略されているが、理由対象レコードが記録されている。		「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はMDレコードの位置を表す。
92	L 2 3 6 7					MD	申し出一連番号	再審査等申し出レコード(MD)に9 9より大きい申し出一連番号が記録されています。1回の請求における申し出数については、9 9を上限としています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X X]	再審査等申し出レコード(MD)に1 0 0以上の申し出一連番号が記録されている。		
93	L 2 4 0 1					RT	-	理由対象レコード(RT)の項目数が「6」ではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X]	理由対象レコード(RT)の項目数が「6」以外となっている。		
94	L 2 4 0 2					RT	申し出一連番号	理由対象レコード(RT)の申し出一連番号が3桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X X]	1. 理由対象レコード(RT)の申し出一連番号に4桁以上が記録されている。 2. 理由対象レコード(RT)の申し出一連番号に数字モード以外が記録されている。 3. 理由対象レコード(RT)の申し出一連番号が省略されている。		
95	L 2 4 0 3					RT	申し出一連番号	再審査等申し出レコード(MD)の申し出一連番号と、直後に記録された理由対象レコード(RT)の申し出一連番号が一致していません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号(MD) [X X X] 申し出一連番号(RT) [X X X]	再審査等申し出レコード(MD)の申し出一連番号と、直後に記録された理由対象レコード(RT)の申し出一連番号が一致していない。		
96	L 2 4 0 4					RT	申し出一連番号	同一申し出内に理由対象レコード(RT)を複数記録されていますが、前のレコードの申し出一連番号と次のレコードの申し出一連番号が一致していません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号(MD) [X X X] 申し出一連番号(RT) [X X X]	同一申し出内に理由対象レコード(RT)を複数記録した場合、前のレコードの申し出一連番号と次のレコードの申し出一連番号が一致していない。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
97	L 2 4 0 5					R T	理由対象区分	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が1桁の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X X]	1. 理由対象レコード(R T)の理由対象区分に1桁以外が記録されている。 2. 理由対象レコード(R T)の理由対象区分に数字モード以外が記録されている。 3. 理由対象レコード(R T)の理由対象区分が省略されている。		
98	L 2 4 0 6					R T	理由対象区分	理由対象レコード(R T)の理由対象区分に、定められていない理由対象区分コードが記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X]	理由対象レコード(R T)の理由対象区分に、定められていない理由対象区分コードが記録されている。		
99	L 2 4 0 7					R T	理由対象区分	再審査等申し出レコード(M D)の直後に記録された理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「1: 指定するレコードが『対象』の場合」ではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X]	再審査等申し出レコード(M D)の直後に記録された理由対象レコード(R T)の理由対象区分に「1: 指定するレコードが『対象』の場合」以外が記録されている。		
100	L 2 4 0 8					R T	理由対象区分	同一の申し出一連番号内に理由対象レコード(R T)が複数記録されてますが、理由対象区分が「2: 指定するレコードが『参照』の場合」のレコードの後に、理由対象区分が「1: 指定するレコードが『対象』の場合」のレコードが記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 前回理由対象区分[X] 前回理由対象一連番号[X X X] 今回理由対象区分[X] 今回理由対象一連番号[X X X]	同一の申し出一連番号内に理由対象レコード(R T)が複数記録されたとき、まず始めに理由対象区分が「1: 指定するレコードが『対象』の場合」のレコードを記録し、次いで「2: 指定するレコードが『参照』の場合」のレコードを記録する順になっていない。		
101	L 2 4 0 9					R T	理由対象一連番号	理由対象レコード(R T)の理由対象一連番号が3桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X X]	1. 理由対象レコード(R T)の理由対象一連番号に4桁以上が記録されている。 2. 理由対象レコード(R T)の理由対象一連番号に数字モード以外が記録されている。 3. 理由対象レコード(R T)の理由対象一連番号が省略されている。		
102	L 2 4 1 0					R T	理由対象一連番号	理由対象レコード(R T)の理由対象一連番号が「1」から昇順に記録されていません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 前回理由対象一連番号[X X X] 今回理由対象一連番号[X X X]	1. 申し出一連番号単位で先頭に記録された理由対象レコード(R T)の理由対象一連番号に「1」以外が記録されている。 2. 理由対象レコード(R T)を複数記録した場合、前のレコードの理由対象一連番号と次のレコードの理由対象一連番号が昇順に記録されていない。		エラー原因1の場合、前回理由対象一連番号は記録されません。
103	L 2 4 1 1					R T	理由対象行番号	理由対象レコード(R T)の理由対象行番号が5桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X]	1. 理由対象レコード(R T)の理由対象行番号に6桁以上が記録されている。 2. 理由対象レコード(R T)の理由対象行番号に数字モード以外が記録されている。 3. 理由対象レコード(R T)の理由対象行番号が記録されていない。		
104	L 2 4 1 2					R T	理由対象枝番号	理由対象レコード(R T)の理由対象枝番号が3桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象枝番号[X X X X]	1. 理由対象レコード(R T)の理由対象枝番号に4桁以上が記録されている。 2. 理由対象レコード(R T)の理由対象枝番号に数字モード以外が記録されている。 3. 理由対象レコード(R T)の理由対象枝番号が記録されていない。		
105	L 2 4 1 3					R T	理由対象行番号、理由対象枝番号	再審査等請求レセプト内の履歴管理ブロックにない行番号及び枝番号が、理由対象レコード(R T)の理由対象行番号及び枝番号で指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X]	1. 再審査等請求レセプト内の履歴管理ブロックにない行番号が、理由対象レコード(R T)の理由対象行番号に記録されている。 2. 再審査等請求レセプト内の履歴管理ブロックにない枝番号が、理由対象レコード(R T)の理由対象枝番号に記録されている。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
106	L 2 4 1 4					R T	理由対象行番号、理由対象枝番号	当該データ識別のレコードは、理由対象レコード(R T)の理由対象行番号及び枝番号で指定できません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X] 指定先データ識別[X X]	理由対象レコード(R T)の理由対象行番号及び枝番号で、下記のデータ識別のレコードが指定されている。 【データ識別】 「 3 : 保険者等からの再審査等請求」 「 1 1 : 再請求前の保険医療機関からの請求」 「 1 2 : 再請求前の審査支払機関での補正等」 「 1 3 : 再請求前の保険者等からの再審査等請求」 「 1 4 : 再請求前の審査支払機関での再審査等結果」		
107	L 2 4 1 5					R T	理由対象区分、理由対象行番号、理由対象枝番号	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」ですが、診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)及び特定器材レコード(T O)以外が指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X] 理由対象一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X] 指定先レコード識別情報[X X]	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」のとき、理由対象行番号及び理由対象枝番号で診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)及び特定器材レコード(T O)以外が指定されている。		
108	L 2 4 1 6					R T	理由対象区分、理由対象行番号、理由対象枝番号	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 2 : 指定するレコードが『参照』の場合」ですが、傷病名レコード(S Y)、診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)、特定器材レコード(T O)及びコメントコード(C O)以外が指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X] 理由対象一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X] 指定先レコード識別情報[X X]	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 2 : 指定するレコードが『参照』の場合」のとき、理由対象行番号及び理由対象枝番号で傷病名レコード(S Y)、診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)、特定器材レコード(T O)及びコメントコード(C O)以外が指定されている。		
109	L 2 4 1 7					R T	理由対象区分、理由対象行番号、理由対象枝番号	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」ですが、診断群分類レコード(B U)、診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)及び特定器材レコード(T O)以外が指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X] 理由対象一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X] 指定先レコード識別情報[X X]	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」のとき、理由対象行番号及び理由対象枝番号で診断群分類レコード(B U)、診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)及び特定器材レコード(T O)以外が指定されている。		
110	L 2 4 1 8					R T	理由対象区分、理由対象行番号、理由対象枝番号	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 2 : 指定するレコードが『参照』の場合」ですが、傷病レコード(S B)、傷病名レコード(S Y)、診断群分類レコード(B U)、診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)、特定器材レコード(T O)及びコメントコード(C O)以外が指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X] 理由対象一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X] 指定先レコード識別情報[X X]	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 2 : 指定するレコードが『参照』の場合」のとき、理由対象行番号及び理由対象枝番号で傷病レコード(S B)、傷病名レコード(S Y)、診断群分類レコード(B U)、診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)、特定器材レコード(T O)及びコメントコード(C O)以外が指定されている。		
111	L 2 4 1 9					R T	理由対象区分、理由対象行番号、理由対象枝番号	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」ですが、歯科診療行為レコード(S S)、医科診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)及び特定器材レコード(T O)以外が指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X] 理由対象一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X] 指定先レコード識別情報[X X]	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」のとき、理由対象行番号及び理由対象枝番号で歯科診療行為レコード(S S)、医科診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)及び特定器材レコード(T O)以外が指定されている。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
112	L 2 4 2 0					R T	理由対象区分、理由対象行番号、理由対象枝番号	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 2 : 指定するレコードが『参照』の場合」ですが、傷病名部位レコード(H S)、歯科診療行為レコード(S S)、医科診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)、特定器材レコード(T O)及びコメントコード(C O)以外が指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X] 理由対象一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X] 指定先レコード識別情報[X X]	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 2 : 指定するレコードが『参照』の場合」のとき、理由対象行番号及び理由対象枝番号で傷病名部位レコード(H S)、歯科診療行為レコード(S S)、医科診療行為レコード(S I)、医薬品レコード(I Y)、特定器材レコード(T O)及びコメントコード(C O)以外が指定されている。		
113	L 2 4 2 1					R T	理由対象区分、理由対象行番号、理由対象枝番号	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」ですが、医薬品レコード(I Y)及び特定器材レコード(T O)以外が指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X] 理由対象一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X] 指定先レコード識別情報[X X]	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」のとき、理由対象行番号及び理由対象枝番号で医薬品レコード(I Y)及び特定器材レコード(T O)以外が指定されている。		
114	L 2 4 2 2					R T	理由対象区分、理由対象行番号、理由対象枝番号	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 2 : 指定するレコードが『参照』の場合」ですが、医薬品レコード(I Y)、特定器材レコード(T O)及びコメントコード(C O)以外が指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X] 理由対象一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X] 指定先レコード識別情報[X X]	理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 2 : 指定するレコードが『参照』の場合」のとき、理由対象行番号及び理由対象枝番号で医薬品レコード(I Y)、特定器材レコード(T O)及びコメントコード(C O)以外が指定されている。		
115	L 2 4 2 3					J Y R T	補正区分(J Y)、理由対象行番号、理由対象枝番号	履歴管理ブロックの事由レコード(J Y)の補正区分が「 2 : 修正」のとき、当該レコードに記録されている補正対象行番号及び補正対象枝番号と同様の行番号及び枝番号を理由対象レコード(R T)で指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由対象区分[X] 理由対象一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X]	履歴管理ブロックの事由レコード(J Y)の補正区分が「 2 : 修正」の場合、当該レコードに記録されている補正対象行番号及び補正対象枝番号と同様の行番号及び枝番号を理由対象レコード(R T)で指定されている。なお、指定先のレコードは補正前のレコード情報である。		補正後のレコード情報は、当該事由レコード(J Y)の補正後行番号及び補正後枝番号に記録された行番号及び枝番号となる。 「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はRTレコードの位置を表す。
116	L 2 4 2 4					M D R T	理由内容コード、理由対象区分	再審査等申し出レコード(M D)の理由内容コードが「 1 0 0 0 0 7 : 『医薬品』の長期投与」で理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」ですが、医薬品レコード(I Y)以外が指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由内容コード[X X X X X X] 理由対象区分[X] 理由対象一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X] 指定先レコード識別情報[X X]	再審査等申し出レコード(M D)の理由内容コードが「 1 0 0 0 0 7 : 『医薬品』の長期投与」で理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」のとき、理由対象行番号及び理由対象枝番号で医薬品レコード(I Y)以外が指定されている。		「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はRTレコードの位置を表す。
117	L 2 4 2 5					M D R T	理由内容コード、理由対象区分	再審査等申し出レコード(M D)の理由内容コードが「 1 0 0 0 0 8 : 『医薬品』の禁忌」で理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」ですが、医薬品レコード(I Y)以外が指定されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 申し出一連番号[X X X] 理由内容コード[X X X X X X] 理由対象区分[X] 理由対象一連番号[X X X] 理由対象行番号[X X X X X] 理由対象枝番号[X X X] 指定先レコード識別情報[X X]	再審査等申し出レコード(M D)の理由内容コードが「 1 0 0 0 0 8 : 『医薬品』の禁忌」で理由対象レコード(R T)の理由対象区分が「 1 : 指定するレコードが『対象』の場合」のとき、理由対象行番号及び理由対象枝番号で医薬品レコード(I Y)以外が指定されている。		「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はRTレコードの位置を表す。

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ（ 2 ）	エラー原因	変更暦年月	備考
118	L 2 4 2 6					MD RT	理由内容 コード、 理由対象 区分	再審査等申し出レコード（MD）の理由内容コードが「１００００９：『診断群分類』の誤り」で理由対象レコード（RT）の理由対象区分が「１：指定するレコードが『対象』の場合」ですが、診断群分類レコード（BU）以外が指定されています。 レセプト内レコード番号〔XXXX〕 レコード内項目位置〔XXX〕 申し出一連番号〔XXX〕 理由内容コード〔XXXXXXXX〕 理由対象区分〔X〕 理由対象一連番号〔XXX〕 理由対象行番号〔XXXXXXXX〕 理由対象枝番号〔XXX〕 指定先レコード識別情報〔XX〕	再審査等申し出レコード（MD）の理由内容コードが「１００００９：『診断群分類』の誤り」で理由対象レコード（RT）の理由対象区分が「１：指定するレコードが『対象』の場合」のとき、理由対象行番号及び理由対象枝番号で診断群分類レコード（BU）以外が指定されている。		「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はRTレコードの位置を表す。
119	L 2 4 2 7					MD RT	理由内容 コード、 理由対象 区分	再審査等申し出レコード（MD）の理由内容コードが「１００００９：『診断群分類』の誤り」又は「１９９９９：（上記以外の理由内容）」以外で理由対象レコード（RT）の理由対象区分が「１：指定するレコードが『対象』の場合」ですが、診断群分類レコード（BU）が指定されています。 レセプト内レコード番号〔XXXX〕 レコード内項目位置〔XXX〕 申し出一連番号〔XXX〕 理由内容コード〔XXXXXXXX〕 理由対象区分〔X〕 理由対象一連番号〔XXX〕 理由対象行番号〔XXXXXXXX〕 理由対象枝番号〔XXX〕 指定先レコード識別情報〔XX〕	再審査等申し出レコード（MD）の理由内容コードが「１００００９：『診断群分類』の誤り」又は「１９９９９：（上記以外の理由内容）」以外で理由対象レコード（RT）の理由対象区分が「１：指定するレコードが『対象』の場合」のとき、診断群分類レコード（BU）が指定されている。		「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はRTレコードの位置を表す。
120	L 2 5 0 1					J R	-	再審査等請求レセプト内のレコードの記録順序が誤っています。 レセプト内レコード番号〔XXXX〕 レコード内項目位置〔XXX〕 前回レコード識別情報〔XX〕 今回レコード識別情報〔XX〕	レセプト縦覧レコード（JR）の直後にレセプト縦覧レコード（JR）、再審査等請求書レコード（SG）及び履歴管理ブロックのレセプト管理レコード（MN）以外が記録されている。		
121	L 2 5 0 2					J R	-	レセプト縦覧レコード（JR）の項目数が「９」ではありません。 レセプト内レコード番号〔XXXX〕	レセプト縦覧レコード（JR）の項目数が「９」以外となっている。		
122	L 2 5 0 3					J R	縦覧区分	レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が１桁の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号〔XXXX〕 レコード内項目位置〔XXX〕 縦覧区分〔XX〕	１．レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に１桁以外が記録されている。 ２．レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に数字モード以外が記録されている。 ３．レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が省略されている。		
123	L 2 5 0 4					J R	縦覧区分	レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に、定められていない縦覧区分コードが記録されています。 レセプト内レコード番号〔XXXX〕 レコード内項目位置〔XXX〕 縦覧区分〔X〕	レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に、定められていない縦覧区分コードが記録されている。		
124	L 2 5 0 5					J R	検索番号	レセプト縦覧レコード（JR）の検索番号が３０桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号〔XXXX〕 レコード内項目位置〔XXX〕 検索番号〔XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX〕	１．レセプト縦覧レコード（JR）の検索番号に３１桁以上が記録されている。 ２．レセプト縦覧レコード（JR）の検索番号に数字モード以外が記録されている。		
125	L 2 5 0 7					J R	検索番号	レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のとき、検索番号が１７桁で記録されています。 レセプト内レコード番号〔XXXX〕 レコード内項目位置〔XXX〕 検索番号〔XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX〕	１．レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のとき、検索番号が１７桁で記録されていない。 ２．レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のとき、検索番号が省略されている。		
126	L 2 5 0 8					J R	整理番号 等	レセプト縦覧レコード（JR）の整理番号等が３０桁以内の数字モードではありません。 レセプト内レコード番号〔XXXX〕 レコード内項目位置〔XXX〕 整理番号等〔XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX〕	１．レセプト縦覧レコード（JR）の整理番号等に３１桁以上が記録されている。 ２．レセプト縦覧レコード（JR）の整理番号等に数字モード以外が記録されている。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
127	L 2 5 1 0					J R	予備	レセプト縦覧レコード(J R)の予備が記録されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X]	保険者等では記録を省略すべき、レセプト縦覧レコード(J R)の予備に文言が記録されている。		
128	L 2 5 1 1					J R	-	レセプト縦覧レコード(J R)の縦覧区分が「 1 : 相手が電子レセプトの場合」のとき、同時に送信された再審査等請求ファイルの何れにも、「対」となるレセプト縦覧レコードの記録がありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 縦覧区分[X] 相手レセプト検索番号[X]	レセプト縦覧レコード(J R)の縦覧区分が「 1 : 相手が電子レセプトの場合」のとき、相手レセプトに「対」となるレセプト縦覧レコードが記録されるはずであるが、同時に送信された請求ファイルの何れにも、「対」となるレセプト縦覧レコードの記録が存在しない。		
129	L 2 5 1 2					J R	-	レセプト縦覧レコード(J R)の縦覧区分が「 1 : 相手が電子レセプトの場合」のとき、同時に送信された再審査等請求ファイルの相手レセプトに、L 2 エラーが出力されています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 縦覧区分[X] 相手レセプト検索番号[X] 相手レセプト整理番号[X]	レセプト縦覧レコード(J R)の縦覧区分が「 1 : 相手が電子レセプトの場合」のとき、同時に送信された請求ファイルの相手レセプトに、L 2 エラーが出力されている。		
130	L 2 5 1 3					M D J R	理由番号	当該再審査等請求の相手レセプトは、縦覧相手として適当ではありません。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 相手レセプト検索番号[X] 相手レセプト整理番号[X] 相手レセプト理由番号[X X X X X X]	当該レセプトが下記の条件で紐付けされている。 【条件】 1. 原票種別が「資格関係等」の場合、相手レセプトが「資格関係等」以外である。 2. 理由番号が「 1 0 0 0 4 8 : 請求先変更(新設・合併等)」の場合、相手レセプトが「 1 0 0 0 4 8 : 請求先変更(新設・合併等)」以外である。 3. 原票種別が「診療内容・事務上」の場合、相手レセプトが「資格関係等」である。 4. 原票種別が「調剤審査」の場合、相手レセプトが「資格関係等」である。 5. 理由番号が「 1 0 0 0 7 0 : 参照されるレセプト」の場合、相手レセプトが「 1 0 0 0 7 0 : 参照されるレセプト」である。 6. 理由番号が「 1 0 0 0 8 0 : 調剤審査(調剤レセプト)」の場合、相手レセプトが「 1 0 0 0 8 0 : 調剤審査(調剤レセプト)」である。 7. 理由番号が「 1 0 0 0 9 0 : 調剤審査(医科・歯科レセプト)」の場合、相手レセプトが「 1 0 0 0 9 0 : 調剤審査(医科・歯科レセプト)」である。 8. 理由番号が「 1 0 0 0 4 9 : 調剤審査の再審査(調剤レセプト)」の場合、相手レセプトが「 1 0 0 0 4 9 : 調剤審査の再審査(調剤レセプト)」である。 9. 理由番号が「 1 0 0 0 6 9 : 調剤審査の再審査(医科・歯科レセプト)」の場合、相手レセプトが「 1 0 0 0 6 9 : 調剤審査の再審査(医科・歯科レセプト)」である。		レセプト縦覧レコード(J R)の縦覧区分が「 1 : 相手が電子レセプトの場合」のときチェックの対象となる。 「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はJRレコードの位置を表す。
131	L 2 5 1 4					M D J R	理由番号	当該レセプトと縦覧相手となるレセプトの医療機関所在地が異なっています。 レセプト内レコード番号[X X X X] レコード内項目位置[X X X] 相手レセプト検索番号[X] 相手レセプト整理番号[X] 相手レセプト理由番号[X X X X X X]	医療機関所在地が異なるレセプトが下記の条件で紐付けされている。なお、「主となるレセプト」とは、理由番号が「 1 0 0 0 7 0 : 参照されるレセプト」以外のレセプトをいう。 【条件】 1. 当該レセプト(A 県)が「主となるレセプト」のとき、相手レセプト(B 県)が「主となるレセプト」である。(調剤審査及び調剤審査の再審査の場合を除く。)		レセプト縦覧レコード(J R)の縦覧区分が「 1 : 相手が電子レセプトの場合」のときチェックの対象となる。 「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はJRレコードの位置を表す。

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ（ 2 ）	エラー原因	変更暦年月	備考
132	L 2 5 1 5					MD JR	理由番号	調剤審査のとき、縦覧相手となるレセプトの理由番号に「１０００８０：調剤審査（調剤レセプト）」、「１０００９０：調剤審査（医科・歯科レセプト）」及び「１０００７０：参照されるレセプト」以外が記録されています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 相手レセプト検索番号[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX] 相手レセプト整理番号[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX] 相手レセプト理由番号[XXXXXXXX]	調剤審査の場合、当該レセプトが下記の理由番号以外のレセプトと紐付けされている。 【理由番号】 「１０００７０：参照されるレセプト」 「１０００８０：調剤審査（調剤レセプト）」 「１０００９０：調剤審査（医科・歯科レセプト）」		レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のときチェックの対象となる。 「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はJRレコードの位置を表す。
133	L 2 5 1 6					MD JR	理由番号	調剤審査の再審査のとき、縦覧相手となるレセプトの理由番号に「１０００４９：調剤審査の再審査（調剤レセプト）」、「１０００５２：医療機関等及び実施機関からの再審査請求による」、「１０００６９：調剤審査の再審査（医科・歯科レセプト）」及び「１０００７０：参照されるレセプト」以外が記録されています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 相手レセプト検索番号[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX] 相手レセプト整理番号[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX] 相手レセプト理由番号[XXXXXXXX]	調剤審査の再審査の場合、当該レセプトが下記の理由番号以外のレセプトと紐付けされている。 【理由番号】 「１０００４９：調剤審査の再審査（調剤レセプト）」 「１０００５２：医療機関等及び実施機関からの再審査請求による」 「１０００６９：調剤審査の再審査（医科・歯科レセプト）」 「１０００７０：参照されるレセプト」		レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のときチェックの対象となる。 「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はJRレコードの位置を表す。
134	L 2 5 1 7					MD JR	-	再審査等申し出レコード（MD）の理由番号が「１０００８０：調剤審査（調剤レセプト）」ですが、レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のとき、相手レセプトの理由番号に「１０００９０：調剤審査（医科・歯科レセプト）」が記録されていません。又はレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に「２：相手が紙レセプトの場合」が記録されていません。	当該レセプトの再審査等申し出レコード（MD）の理由番号が「１０００８０：調剤審査（調剤レセプト）」の場合、当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の中で下記条件の何れかを満たすレコードが１件も記録されていない。 【条件】 １．当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のとき、相手レセプトの理由番号に「１０００９０：調剤審査（医科・歯科レセプト）」が記録されている。 ２．当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に「２：相手が紙レセプトの場合」が記録されている。		
135	L 2 5 1 8					MD JR	-	再審査等申し出レコード（MD）の理由番号が「１０００９０：調剤審査（医科・歯科レセプト）」ですが、レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のとき、相手レセプトの理由番号に「１０００８０：調剤審査（調剤レセプト）」が記録されていません。又はレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に「２：相手が紙レセプトの場合」が記録されていません。	当該レセプトの再審査等申し出レコード（MD）の理由番号が「１０００９０：調剤審査（医科・歯科レセプト）」の場合、当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の中で下記条件の何れかを満たすレコードが１件も記録されていない。 【条件】 １．当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のとき、相手レセプトの理由番号に「１０００８０：調剤審査（調剤レセプト）」が記録されている。 ２．当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に「２：相手が紙レセプトの場合」が記録されている。		
136	L 2 5 1 9					MD JR	-	再審査等申し出レコード（MD）の理由番号が「１０００４９：調剤審査の再審査（調剤レセプト）」ですが、レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のとき、相手レセプトの理由番号に「１０００６９：調剤審査の再審査（医科・歯科レセプト）」又は「１０００５２：医療機関等及び実施機関からの再審査請求による」が記録されていません。又はレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に「２：相手が紙レセプトの場合」が記録されていません。	当該レセプトの再審査等申し出レコード（MD）の理由番号が「１０００４９：調剤審査の再審査（調剤レセプト）」の場合、当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の中で下記条件の何れかを満たすレコードが１件も記録されていない。 【条件】 １．当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のとき、相手レセプトの理由番号に「１０００６９：調剤審査の再審査（医科・歯科レセプト）」又は「１０００５２：医療機関等及び実施機関からの再審査請求による」が記録されている。 ２．当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に「２：相手が紙レセプトの場合」が記録されている。		
137	L 2 5 2 0					MD JR	-	再審査等申し出レコード（MD）の理由番号が「１０００６９：調剤審査の再審査（医科・歯科レセプト）」ですが、レセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のとき、相手レセプトの理由番号に「１０００４９：調剤審査の再審査（調剤レセプト）」が記録されていません。又はレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に「２：相手が紙レセプトの場合」が記録されていません。	当該レセプトの再審査等申し出レコード（MD）の理由番号が「１０００６９：調剤審査の再審査（医科・歯科レセプト）」の場合、当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の中で下記条件の何れかを満たすレコードが１件も記録されていない。 【条件】 １．当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分が「１：相手が電子レセプトの場合」のとき、相手レセプトの理由番号に「１０００４９：調剤審査の再審査（調剤レセプト）」が記録されている。 ２．当該レセプトのレセプト縦覧レコード（JR）の縦覧区分に「２：相手が紙レセプトの場合」が記録されている。		

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ(2)	エラー原因	変更暦年月	備考
138	L 2 5 2 1					MD JR	縦覧区分	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号が「100070:参照されるレセプト」ですが、縦覧レコード(JR)の縦覧区分に「1:相手が電子レセプトの場合」以外が記録されています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 縦覧区分[X]	再審査等申し出レコード(MD)の理由番号が「100070:参照されるレセプト」ですが、縦覧レコード(JR)の縦覧区分に「1:相手が電子レセプトの場合」が記録されていない。		「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はJRレコードの位置を表す。
139	L 2 5 2 2					JR	-	レセプト縦覧レコード(JR)の記録数が制限回数(999)を超えています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX]	レセプト縦覧レコード(JR)の記録数がシステムの制限を超えた値(999)が記録されている。		
140	L 2 5 2 3					JR	-	同時に送信された再審査等請求ファイルの相手レセプトのレセプト縦覧レコード(JR)に縦覧先として記録がありますが、当該レセプトに「対」となるレセプト縦覧レコード(JR)の記録がありません。 相手レセプト検索番号[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX] 相手レセプト整理番号[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]	同時に送信された再審査等請求ファイルの相手レセプトのレセプト縦覧レコード(JR)に縦覧先として記録がありますが、当該レセプトに「対」となるレセプト縦覧レコード(JR)が記録されていない。		レセプト縦覧レコード(JR)の縦覧区分が「1:相手が電子レセプトの場合」のときチェックの対象となる。
141	L 2 5 2 4					JR	検索番号	当該レセプトにおいて、複数のレセプト縦覧レコード(JR)に同一の検索番号が記録されています。 検索番号[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]	複数のレセプト縦覧レコード(JR)で同一の検索番号が記録されている。		
142	L 2 5 2 5					JR	整理番号等	当該レセプトにおいて、複数のレセプト縦覧レコード(JR)に同一の整理番号等が記録されています。 整理番号等[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]	複数のレセプト縦覧レコード(JR)で同一の整理番号等が記録されている。		
143	L 2 5 2 6					JR	検索番号	レセプト管理レコード(MN)の検索番号と同一の番号がレセプト縦覧レコード(JR)の縦覧区分が「1:相手が電子レセプトの場合」の検索番号に記録されています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 検索番号[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]	レセプト管理レコード(MN)の検索番号と同一の番号がレセプト縦覧レコード(JR)の縦覧区分が「1:相手が電子レセプトの場合」の検索番号に記録されている。		
144	L 2 5 2 7					JR	整理番号等	再審査等申し出レコード(MD)の整理番号と同一の番号がレセプト縦覧レコード(JR)の縦覧区分が「2:相手が紙レセプトの場合」の整理番号等に記録されています。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 整理番号等[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]	再審査等申し出レコード(MD)の整理番号と同一の番号がレセプト縦覧レコード(JR)の縦覧区分が「2:相手が紙レセプトの場合」の整理番号等に記録されている。		
145	L 2 5 2 8					JR	整理番号等	レセプト縦覧レコード(JR)の縦覧区分が「2:相手が紙レセプトの場合」のとき、整理番号等が17桁以内で記録されていません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 整理番号等[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]	1.レセプト縦覧レコード(JR)の縦覧区分が「2:相手が紙レセプトの場合」のとき、整理番号等が18桁以上で記録されている。 2.レセプト縦覧レコード(JR)の縦覧区分が「2:相手が紙レセプトの場合」のとき、整理番号等が省略されている。		
146	L 2 5 2 9					JR	整理番号等	レセプト縦覧レコード(JR)の縦覧区分が「3:相手が紙の参考の場合」のとき、整理番号等が30桁以内で記録されていません。 レセプト内レコード番号[XXXX] レコード内項目位置[XXX] 整理番号等[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]	1.レセプト縦覧レコード(JR)の縦覧区分が「3:相手が紙の参考の場合」のとき、整理番号等が31桁以上で記録されている。 2.レセプト縦覧レコード(JR)の縦覧区分が「3:相手が紙の参考の場合」のとき、整理番号等が省略されている。		

[illegible]

項番	エラーコード	医科	DPC	歯科	調剤	レコード	項目	エラーメッセージ (2)	エラー原因	変更暦年月	備考
153	L 2 5 3 6					MD J R	理由番号	再審査等申し出レコード (MD) の理由番号が「1 0 0 0 4 9 : 調剤審査の再審査 (調剤レセプト)」で、相手レセプトの理由番号が「1 0 0 0 5 2 : 医療機関等及び実施機関からの再審査請求による」ですが、当該レセプトに複数の再審査等申し出レコード (MD) が記録されています。 レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X] 相手レセプト検索番号 [X] 相手レセプト整理番号 [X]	再審査等申し出レコード (MD) の理由番号が「1 0 0 0 4 9 : 調剤審査の再審査 (調剤レセプト)」で、相手レセプトの理由番号が「1 0 0 0 5 2 : 医療機関等及び実施機関からの再審査請求による」の場合、当該レセプトに複数の再審査等申し出レコード (MD) が記録されている。		レセプト縦覧レコード (J R) の縦覧区分が「1 : 相手が電子レセプトの場合」のときチェックの対象となる。 「レセプト内レコード番号」と「レコード内項目位置」はJRレコードの位置を表す。
154	L 2 9 9 9					RC	-	履歴管理ブロックの記録が正しくありません。 履歴管理ブロックをご確認ください。 レコード識別 [X X] レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X]	履歴ブロックの一部の単項目チェックがエラーとなった場合		